議題８

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">□ 新　規　　■ 再提案　（31・4・18　第144回総会；長野市）</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
□ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>□ 総務文教
■ 社会環境
□ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>■ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2">厚生労働省</td></tr>
<tr><td>□ 県</td><td>担当部局課室</td><td colspan="2">健康福祉部　感染症対策課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>件名</td><td colspan="4">おたふくかぜワクチン（小児）及び帯状疱疹ワクチン予防接種の早期定期接種化について</td></tr>
<tr><td>提案市</td><td colspan="4">千曲市</td></tr>
<tr><td>提案要旨</td><td colspan="4">現在、任意の予防接種となっているおたふくかぜワクチン及び帯状疱疹ワクチンの予防接種について、接種者の費用負担を軽減し、接種が促進されるよう、早期に予防接種法における定期予防接種に位置付けることを要望する。</td></tr>
<tr><td>提案理由</td><td colspan="4">４、５年ごとに全国規模で流行するおたふくかぜは感染力が高く、無菌性髄膜炎や重度の難聴など合併症の危険もあり、自費で予防接種を受ける家庭が増えている。
また、帯状疱疹の発症率は50歳代から上昇して80歳までに３人に１人が発症すると言われ、治療が長引いたり、後遺症として痛みなど症状が残るケースもある。発症予防のためのワクチンは価格が高く、接種に踏み切れない人がいる。</td></tr>
<tr><td>現況及び課題等</td><td colspan="4">おたふくかぜワクチンについて、当市では、重症化予防と保護者の経済的負担の軽減を図るため、令和５年４月より１歳児接種費用の一部助成を開始した。令和５年５月末時点の接種率は26.0%、６月末時点では38.9%となっているが、一部助成であるため、保護者の経済的負担は継続している。
帯状疱疹ワクチンは価格が高いため、接種に踏み切れず、症状に苦しんでいる人もおり、市民からの費用補助についての問い合わせや要望がある。</td></tr>
<tr><td>関係法令</td><td colspan="4">予防接種法</td></tr>
</table>